

○ 動物医薬品検査所の検査事業費

【令和7年度予算概算決定額 309（280）百万円】

<対策のポイント>

動物用医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保を通じて、動物の命を守るとともに、食の安全を守ります。

<事業目標>

- 検定・検査の適正な実施、検査手法の確立等により、品質の確保された動物用医薬品等の安定供給に貢献
- 豚熱や高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）に対する動物用医薬品等の効果的な使用の検証、HPAIワクチンの製造用株作出により、家畜防疫に貢献
- 我が国の薬剤耐性対策アクションプランに沿った取組を推進し、薬剤耐性菌の発生を抑え、国産畜水産物に対する消費者の信頼確保に貢献

<事業の内容>

1. 動物用医薬品等の適正な検定・検査、検査手法の確立

外部精度管理試験の受検、計画的な機器更新により、適正な検定・検査を行い、品質の確保された動物用医薬品等の安定供給に貢献します。また、新たな分野である動物細胞加工製品の安全性の評価手法を確立し、良質な製品の供給に貢献します。

2. 動物用医薬品等の効果的な使用の検証、新たなワクチン製造用株の作出

豚熱やHPAI等、家畜防疫上重要な疾病に対し、動物用医薬品等の効果的な使用について科学的に検証し、獣医師等の使用者へ情報提供するとともに、流行する HPAIウイルスに適したワクチン製造用株を作出し、より効果の高いHPAIワクチンを備蓄することにより、家畜防疫に貢献します。

3. 薬剤耐性対策の推進

動物分野における薬剤耐性対策の基幹検査機関として、薬剤耐性菌の動向調査的確な実施、ゲノム解析等の活用による薬剤耐性菌の発生・伝播機序の解明を通じて、薬剤耐性菌のリスク低減及び国産畜水産物の信頼性確保に貢献します。

<事業イメージ>

1 動物用医薬品等の検査対応

有効性・安全性の確保された動物用医薬品等の安定供給に貢献

- ・計画的な機器更新の実施
→検査の信頼性向上・維持
- ・安全性の評価手法の確立
→新技術の実用化の促進



2 動物用医薬品等の効果的な使用の検証、新たな製造用株作出

我が国の家畜防疫に貢献

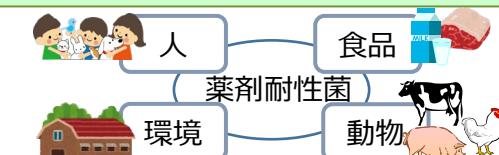
- ・検証試験の実施及び製造用株の作出
→効果的な使用に関する情報提供
及び効果の高いワクチンの備蓄



3 薬剤耐性対策の推進

我が国の薬剤耐性対策の向上や畜水産物の信頼性の確保に貢献

- ・薬剤耐性菌の動向調査及び
伝播機序等の解明
→薬剤耐性菌のリスク低減



動物の命と食の安全を守る